

【例題－農業7】

我が国の水稲栽培に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 種子を湯に浸漬して消毒する温湯消毒では、約80℃の湯に20～30分浸漬するとよい。
2. 水田における栽植密度は、1 m²当たり20株程度とすることが多かったが、近年は多収を目指して30株程度まで増加する動きが全国的に広がっている。
3. 移植直後はできるだけ浅水にして活着を促し、分けつ期には深水にして分けつ発生を促す。
4. 登熟期の高温による白未熟粒の発生を回避するため、穂ぞろい期後は早めに落水し、土壌表面を乾燥状態とすることが望ましい。
5. 実肥を施用すると収量増加が期待できるが、玄米中のタンパク質含有率が高まるので食味が低下することがある。

(正答) 5